

1. 科目名 (単位数)	ジェンダー論 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1331
2. 授業担当教員	飯島 和美		
4. 授業形態	講義、演習 (グループワーク含む)	5. 開講学期	春期 (池袋) 秋期 (王子)
6. 履修条件・ 他科目との関係	ジェンダーの問題に関心があること		
7. 講義	「女は家庭のなかで子育てをすることに向いている」とか「男は外で仕事をするすることに向いている」といった「女らしさ」や「男らしさ」は、長い間、身体の仕組みや本能などの生物学的要因によって決定されるものだと考えられてきた。しかし、20 世紀の後半から、「女らしさ」「男らしさ」の区別は、社会的・文化的要因と深く関係していると考えられるようになった。「ジェンダー」とは、「当該社会において社会的・文化的に形成された性別や性差についての知識」であり、性別を男女に二分し、かつ、男女に非対等に資源を配分する社会構造・秩序を意味するものである。本講義では、「ジェンダー」という言葉の意味を理解した上で、現代社会の様々な社会現象・社会問題に対して、「ジェンダー」の観点から関心を持ち、分析・考察し、表現する力を身につけると同時に、既存の社会構造の変革を通して目指されている“ジェンダー平等”な社会の姿を説明できるようになることを目指す。		
8. 学習目標	本講義の目的を達成するために、以下の3つの到達目標を設定する。 1) 「ジェンダー」の概念とその意義を理解した上で、わかりやすく説明することができる。 2) 現代社会における家族、労働、家事、育児、介護等の諸問題に内在する「ジェンダー」に関心を持ち、それぞれの課題について他の受講者の意見を尊重した上で議論することができる。 3) 本授業での学びの成果をもとに、「ジェンダー」の観点から、現代社会における様々な社会現象・社会問題を分析・考察し、自らの意見を適切な表現を用いて表現することができる。 4) 既存の社会構造の変革を通して目指されている“ジェンダー平等”な社会の姿を説明することができる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題	中間課題として3回、資料を読み、あるいは動画/録音を視聴して考察したことを書きまとめるレポート課題を課す。		
10. 教科書・参考 書・教材	教科書は使用せず、講義プリントと資料を提供する。 参考書 ・内閣府男女共同参画局：男女共同参画白書 令和6年版 https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r06/zentai/pdfban.html ・ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン/京都市男女共同参画推進協会：#ボクらは誰も傷つけない「男らしさ」の謎を探る冒険、2020。 ・江原由美子編著：ジェンダーと平等、ミネルヴァ書房、2024。 ・日経サイエンス編集部編：性とジェンダー：誰もが生きやすい社会へ、日経サイエンス，日本 BP マーケティング (発売) 2023。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 ・「ジェンダー」の概念とその意義を理解できたか。 ・現代社会に内在する「ジェンダー」の課題に関心を持ち、それに対する自らの意見を深めることができたか。 ・「ジェンダー」の観点から、現代社会における様々な社会現象・社会問題を分析、考察することができたか。 ・“ジェンダー平等”な社会像を説明することができたか。 ○評定の方法 ・平常点 (積極的参加度・授業態度・発表・発言等) 30% ・課題 (中間レポート・ワークシート等) 30% ・期末評価 (レポート・試験等) 40%		
12. 受講生への メッセージ	女でも男でもそのほかでも、皆性別を帯びた存在であり、ジェンダーの当事者です。身近な経験・できごとから国際問題、社会問題まであらゆることがらをジェンダーの視点から読み解き、これからの生き方・働き方、これからどういう社会をつくっていききたいかを自分ごととして一緒に考えましょう。		
13. オフィスアワー	授業の前後、E-mail：p-kaiijima@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	・科目のオリエンテーション ・「ジェンダー」とは何かー二様の定義	事前学習	令和5年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏 (令和6年度版男女共同参画白書) 特集の通読
		事後学習	ジェンダーとは何かについての振り返り
第2回	・戦後日本社会のジェンダー構造 ・“製造装置”としての性別分業①社会的労働と私生活労働の性別分業	事前学習	令和5年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏 (令和6年度版男女共同参画白書) 第1分野の通読
		事後学習	戦後日本社会のジェンダー構造と、その核である性別分業についての振り返り
第3回	・“一次生産物”としての社会的力 (社会資源) の男性偏在	事前学習	令和5年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏 (令和6年度版男女共同参画白書) 第2分野の通読
		事後学習	社会的力の男性偏在についての振り返り

第 4 回	・二次生産物としての女性問題：女性に対する暴力を例に	事前学習	令和 5 年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏（令和 6 年度版男女共同参画白書）第 3 分野の通読
		事後学習	社会的力の男性偏在が女性問題を生むしく みについての振り返り
第 5 回	・家族内暴力①ドメスティック・バイオレンス（DV）— どういふ問題か、配偶者間DVとデートDV、調査結果 にみる被害/加害の実態	事前学習	令和 5 年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏（令和 6 年度版男女共同参画白書）第 4 分野の通読
		事後学習	ドメスティック・バイオレンスがどういふ問題 であるのかについての振り返り
第 6 回	・家族内暴力①ドメスティック・バイオレンス—法律・行政・社会的な対策、被害者の保護と回復支援	事前学習	令和 5 年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏（令和 6 年度版男女共同参画白書）第 5 分野の通読
		事後学習	DV 被害者の保護と回復支援、予防のためのしく みについての振り返り
第 7 回	・家族内暴力②子ども虐待—どういふ問題か、調査結果 にみる被害実態	事前学習	ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン：＃ 僕らはだれも傷つけない。2020 の通読
		事後学習	子ども虐待がどういふ問題であるのかの振 り返り
第 8 回	・家族内暴力②子ども虐待—法律・行政・社会的な対策、 被害児の保護と回復・発達支援、“欲求の溜め”	事前学習	NHK クローズアップ現代「虐待後を生きる」 書き起こし 2020 の通読
		事後学習	“欲求の溜め”の作り直しを核とする虐待被 害児の保護、回復・発達支援についての振 り返り
第 9 回	・ハラスメントについて—どういふ問題か、日本にお けるハラスメント概念の形成と問題史、防止と発生後の対 応	事前学習	令和 5 年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏（令和 6 年度版男女共同参画白書）第 6 分野の通読
		事後学習	ハラスメントについて—どういふ問題かに ついての振り返り
第 10 回	・教育とジェンダー—フォーマル・カリキュラムとイン フォーマル・カリキュラム（動画視聴を含む）	事前学習	令和 5 年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏（令和 6 年度版男女共同参画白書）第 7 分野の通読
		事後学習	動画視聴のレポート作成
第 11 回	・教育とジェンダー—包括的性教育（ラジオ番組録音視 聴を含む）	事前学習	令和 5 年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏（令和 6 年度版男女共同参画白書）第 8 分野の通読
		事後学習	番組録音視聴のレポート作成
第 12 回	・性別について公正な社会のすがた①—四次元の平等	事前学習	『女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃 に関する条約』、『男女共同参画社会基本法』 の通読
		事後学習	実質的な機会の平等の確保についての振 り返り
第 13 回	性別について公正な社会のすがた②—国連『女性に対 するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約』1979、『男 女共同参画社会基本法』1999 に依拠して	事前学習	『女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃 に関する条約』、『男女共同参画社会基本法』 の通読
		事後学習	国際および国内の根拠法規のめざす社会像 の振り返り
第 14 回	・家事労働のゆくえ—「主婦の役割」から 4 つの手段の 組み合わせへ	事前学習	令和 5 年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏（令和 6 年度版男女共同参画白書）第 9 分野の通読
		事後学習	家事労働の今後のあり方についての振 り返り
第 15 回	・性別にかかわらずワーク・ライフ・バランスの実現	事前学習	令和 5 年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏（令和 6 年度版男女共同参画白書）第 10 分野の通読
		事後学習	自身の将来のワーク・ライフ・バランスにつ いての考え方についてリアクションペー パーを作成、提出
期末試験			